

# 箱田支部「ふれあい会」だより

笠間市 社会福祉協議会 箱田支部会長 大月 弘之 電話 72-6168

日頃より社会福祉協議会箱田支部の運営につきまして、皆様方には格別のご協力をいただき感謝申し上げます。さて、5月18日開催いたしました社会福祉協議会箱田支部総会において、令和6年度事業報告・同決算報告、令和7年度事業計画・同予算などを承認・可決されましたのでご報告いたします。

社協箱田支部として、地域住民が安心して過ごせる住み良い地域づくりができるよう、事業運営に努めたいと思っております。今後とも、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

## 令和6年度 笠間市社会福祉協議会 箱田支部「ふれあい会」決算書

《収入の部》 単位:円

項目	本年度決算額	摘要
会員会費還元金	289,850	笠間市社会福祉協議会より
区補助金	0	
繰越金	603,845	前年度繰越金
雑収入	96	銀行利子
<b>収入合計</b>	<b>893,791</b>	

《支出の部》 単位:円

項目	本年度決算額	摘要
事務費	37,312	
会議費	1,998	
備品費	0	
消耗品費	19,828	事務用品等
通信運搬費	15,486	会議資料等切手
手数料	0	
事業費	170,740	
地域交流事業費	40,480	各種講座等講師謝礼
高齢者活動費	0	
体育活動費	65,000	各種教室講師謝礼
広報活動費	29,260	広報紙発行(2回)
福祉活動費	30,000	高齢者ふれあい配食事業
環境美化費	0	
研修費	6,000	社協笠間支部研修負担金
予備費	0	
<b>支出合計</b>	<b>208,052</b>	

収入合計893,791円－支出合計208,052円

差引残高 **685,739円**

※685,739円は令和7年度へ繰越します。

令和7年3月31日

社会福祉協議会 箱田支部会長 大月弘之

## 令和7年度 笠間市社会福祉協議会箱田支部役員 任期は令和8年3月31日まで (順不同・敬称略) 「笠間市地域交流センターはこだ運営委員兼務」

役職	氏名	選出区分
会長	大月 弘之	笠間市地域交流センターはこだ センター長
副会長	三村 進	笠間市地域交流センターはこだ 副センター長兼会計
監査委員	大月 英明	笠間市防犯連絡員箱田分会 会長
運営委員	大嶋 悦子	笠間市民生・児童委員
〃	阿内 一義	笠間市民生・児童委員
〃	大月 要	笠間市民生・児童委員
〃	太田 滋	笠間市民生・児童委員
〃	高野 尚夫	笠間市農業委員
〃	飯村 洋子	箱田ふれあい女性会 会長
〃	岡野 修一	地域交流センターはこだ 監事
〃	大嶋 悦子	ひめはるボランティア会長
〃	大月 英明	市防犯連絡員 箱田分会 会長
〃	高野 一	51区長
〃	谷中 精一	54区長
〃	宮澤 秀門	55区長
〃	太田 周夫	56区長
〃	太田 一郎	57区長
〃	谷田部 修 (新)	58区長
〃	大里 金二 (新)	60区長
〃	三村 進	61区長
〃	大月 甚一	62区長
〃	関 晴夫 (新)	63区長
〃	足立 修	64区長
〃	猪野 清治	65区長
〃	國見 茂久	66区長

※地域交流センターはこだの使用及びカギの借用につきましては 副センター長の 三村 進さん  
電話 72-1305 へお願いいたします。

## 令和6年度 事業報告

実施月	内 容	参加者	対象者	☆地域交流センターはこだ年間利用状況 (令和6年度)
5・3月	運営委員会 会議(2回)	37名	運営委員	
4月～3月	スクエアステップ教室(年42日)地域交流センター	延594名	一般 会員	女性団体 403名
4月～3月	スクエアステップ教室(年46日)大郷戸集落センター	延805名	一般 会員	成人団体 987名
4月～3月	ストレッチ運動教室(年22回)	延196名	成人女性 会員	高齢者団体 1,376名
4月～3月	フラワーアレンジメント講座(年9回)	延81名	成人女性 会員	その他 207名
6月～3月	シルバーリハビリ体操(年23回)	延390名	一般 会員	合計 3,098名
11月	箱田名所めぐりハイキング	29名	一般	○利用回数 219回
5・3月	ふれあい会広報紙発行(2回)	各650戸	各区長依頼配布	○開館日数 194日
12月	高齢者ふれあい配食サービス事業	36名	ひとり暮らし高齢者	○利用団体数 28

### 地域づくり 社協箱田支部(ふれあい会)主催 「大郷戸サロン」・「わらくの会」合同研修会(参加者36名)

令和7年6月12日(木)に「大郷戸サロン」、「わらくの会」が合同で、栃木県の「こころみ学園・佐野厄除け大師・道の駅どまんなかたぬま」を視察しました。足利市の「こころみ学園」は、昭和33年に中学校の特別支援学級の教員だった川田昇さんが市内のある山を購入して、その川田さんと知的障がいのある中学生たちが中心となり2年かけて葡萄畑を開墾。昭和44年に葡萄と椎茸を中心に農作業をとおして園生の心身の成長を目指す「こころみ学園」設置されたとのことです。葡萄は38度の急斜面に植えてあり、視察時は園生たちが下草刈りをしていました。川田さんは、日頃から果実を作りたいと考えており、葡萄であれば、「1年間コンスタントに作業ができ、加工できる」ことから葡萄を植えたそうです。また、収穫した葡萄を使ってワインを作りたい」という川田さんの思いから昭和55年にワインを造るための会社「ココ・ファーム・ワイナリー」を設立。「こころみ学園」は、100名の園生が共同生活をしており、作業を細分化し、自分のできることを見つけ、できる



(前方が38度の急斜面の葡萄畑)



(山中にトンネルを掘って建設された熟成庫)



(テイスティング・コーナーで試飲)

範囲で繰り返し頑張るといふことで、誰もが「○○○のプロ」になる。園生の中には、ワインの製造工程中の瓶詰されたワインの中にコルクダストが入っているか否かを見分けるプロや園生100名分の作業服を洗濯し取り込みした洗濯物を間違えることがなく園生に渡すプロがいるそうです。また、ワイナリーでは、年間20万本を醸造し、そのワインは、サミットや飛行機の国際線のファーストクラスにも採用されているとのこと。そのワイン造りにはワイナリーの職人とともに、こころみ学園の園生たちも関わっています。

※急斜面での葡萄栽培(下草刈り、剪定後の枝拾いや摘房作業など)は、大変な作業と思いましたが、また、受け入れる施設の環境や対応の仕方でも園生の方がいきいきと生活ができることを知りました。

佐野厄除け大師は、天慶7年(944年)奈良の僧宥尊上人が開いた寺で、厄除け元三慈恵大師を安置して、厄除け、方位除けの祈願を続けています。正月になると大祭を開催。厄除けをはじめ、身体安全や心願成就などのご利益があるパワースポットとのことです。

参拝当日は、ご祈禱をされる方が多くおりました。

道の駅どまんなかたぬまは、北緯36度・東経139度一日本列島の中心地がある佐野市田沼地区。その日本のまんなかに、地元的新鲜野菜をはじめ全国の名産を集めた道の駅で一休みできる足湯や子どもたちが遊べるゾーンもあります。また、駐車場に設置されているソーラー発電施設は圧巻です。



(佐野厄除け大師)

### 《お知らせ》

#### 令和7年度 箱田地区敬老会中止のお知らせ

箱田地区敬老会実行委員会にて敬老会について協議を行った結果、祝賀会を開催することにより、「敬老対象者間(参加できる方・参加できない方)に不公平が生じることから、やむ得ず敬老会を中止する」とことといたしました。

なお、箱田地区敬老会の対象区は、51区、54区、55区、56区、57区、58区、60区、61区、62区、63区、64区、65区、66区となります。また、令和7年度も、節目年齢(75歳、77歳、80歳、88歳、90歳、99歳、100歳)となる方や最高齢者の方につきましては、記念品が笠間市から直接贈呈されることとなりました。

楽しみされていた皆様には誠に申し訳ございませんがご理解をいただきたいと思います。

